

認知症の人とともに歩む地域の皆さん

認知症サポーター



認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かい目で見守る応援者です。認知症サポーター養成講座を受講することで認知症サポーターになることができます。

認知症サポーター養成講座は、公民館で定期的に開催しています。



オレンジSUN

**伊勢崎市認知症サポーター
オレンジSUN**

名前

登録年度 年度

伊勢崎市地域包括支援センター

認知症サポーターの中で実際に認知症の人やその家族を応援する人たちです。認知症の人やその家族の話を書く活動や見守り活動、認知症カフェの運営などを行っています。

認知症サポーターのいるお店



窓口などで対応する従業員のおおむね1割以上が認知症サポーターである店を「認知症サポーターのいるお店」として登録しています。

現在、市内では157件の事業所が登録しています。市HPで紹介している他、店に表示板を掲示してあります。安心して利用してください。

チームオレンジ

**伊勢崎市認知症サポーターオレンジSUN
チームオレンジ地区名**

名前

伊勢崎市高齢者相談センター 圏域名
伊勢崎市地域包括支援センター

認知症の人やその家族が希望する生活ができるような支援につなぐ仕組みです。

高齢者相談センターを中心に、地域での支援の輪が広がっています。

認知症の人とその家族を支える制度やサービス

認知症高齢者等見守り事前登録制度と見守りサービス

認知症などにより行方不明になる恐れのある40歳以上の人またはその家族を対象にした制度などです。

【認知症高齢者等見守り事前登録制度】

行方不明になる恐れのある人を事前に登録し、早期発見に取り組む制度です。登録した情報は伊勢崎警察署と共有します。

【認知症高齢者等見守りサービス】

小型のGPS機器を貸し出します。機器を携帯している人の位置がスマホなどで確認できます。

※ペースメーカー装着者は利用できません



認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

認知症の人が偶発的な事故で他人にけがをさせたり財物を壊したりしたことによって、本人やその家族が法律上の損害賠償責任を負ってしまった場合に、その賠償金を保険で補償します。認知症高齢者等見守り事前登録制度または認知症高齢者等見守りサービスに登録している人やその家族が対象です。

補償金額 上限3億円

内

- 自転車で歩行者とぶつかりけがを負わせた
- 店の商品を誤って壊した
- 誤って線路内に立ち入り電車を止めた など

¥ 無料

9月は 認知症月間

認知症になっても、 自分らしく 暮らし続けられるまちへ

市は、認知症に関するさまざまな取り組みをしています。認知症の人やその家族が利用できる制度やサービス、地域のサポートを紹介します。認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、この機会に認知症について知り、考えてみませんか。

問 地域包括支援センター（☎27-2745）



▲市HPでも認知症への支援を紹介しています



▲認知症サポーターのいるお店での茶話会の様子

「新しい認知症観」を知っていますか？

認知症と聞くと「何も分からなくなる」「一人では生活できなくなる」といったイメージを持つ人もいられるかもしれません。認知症は症状や進み方が一人一人異なり、認知症になっても、できることや楽しめること、地域での役割はたくさんあります。

令和6年1月、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を目指すため、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法（認知症基本法）」が施行されました。同年、政府は認知症基本法に基づき、認知症に関する施策を進めていくための認知症施策推進基本計画を取りまとめ、その中で「新しい認知症観」を示しました。

新しい認知症観とは？

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人ができることや、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間たちとつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

認知症のある人を「支えられる人」としてだけではなく、自分らしく暮らし、社会の一員として活躍できる存在として捉え、本人の思いや希望を大切に、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会を目指していくことが重要です。

新しい認知症観

古い認知症観
（他人事、他者視点、問題重視、疎外、絶望）

- ①他人ごと、なりたくない、目をそらす、先送り
- ②認知症だと何も分からない、できなくなる
- ③本人は話せない。声を聞かない
- ④おかしい言動で周りが困る
- ⑤危険重視、過剰制限しても仕方ない
- ⑥周囲が決める
- ⑦本人は支援される一方、負担の存在
- ⑧地域で暮らすのは無理
- ⑨認知症は恥ずかしい、隠す
- ⑩暗い、萎縮、諦め、絶望的

新しい認知症観
（わがこと、本人視点、可能性重視、ともに、希望）

- ①わがこと、お互いさま、向き合う、備える
- ②分かること、できることが豊富にある
- ③本人は声を出せる。声を聞く
- ④本人が一番困っている。本人なりの意味がある
- ⑤当たり前のこと（人権）重視。自由と安全のバランス
- ⑥本人が決める（決められるように支援）
- ⑦本人は支え手でもある。経験者として大切な存在
- ⑧地域の一員として共に暮らす（施設入所後も）
- ⑨認知症でも自分は自分、自然体でオープンに
- ⑩楽しい、のびのび、諦めず、希望がある

※認知症地域支援推進員活動ガイド2023年3月版を基に伊勢崎市が作図